

今年も終戦記念日がやってきた。満月の下で一斉に咲く一夜限りの月下美人の大輪の花を戦争、災害で亡くなった人々への献花とし、明るい確かな21世紀を祈念したい。

東日本大震災救援活動を踏まえ、平成23年度第1回沖縄県・沖縄県医師会連絡会議で災害派遣・支援体制、離島医療サービス、病院船構想等について検討された。

マスコミとの懇談会は沖縄県医師会が大槌町で行った医療支援を通して見えてきた災害時の医療支援と医療復興支援について情報交換が行われた。

東日本大震災災害救助医療班の活動報告8陣大西勉先生、9陣田名毅先生、10陣久木田一朗先生、飛び入りで参加された山内肇先生の報告は緊急時の対応、亜急性期、慢性期の対応、被災地での医療の在り方をレポートする貴重な報告である。すべての救援班の活動をまとめて、今後の災害医療の活動指針を策定して頂きたい。

平成23年度都道府県医師会環境保健担当理事連絡協議会で日本医師会初めての社会活動、特に次世代の子供達のため環境保護活動の在り方を提言している。

分科会報告は耳鼻咽喉科分科会を鈴木幹男先生が、沖縄精神神経学会を近藤毅先生が分科会の歴史、活動、特徴を報告されています。生涯教育コーナーは高橋一浩先生の1年半前から小児医療センターで始まった小児の不整脈に対する非薬物治療についてです。小児での治療の問題点、特徴について解説されており、小児ならではの苦労が見えてきます。プライマリ・ケアコーナーは又吉重光先生が耳鼻科の救急医療について画像を用いてわかりやすく提示されています。インタビューコーナーは県立中部病院長に就任された宮城良充先生で任期は2年なれど短期間ならではの完全燃焼への熱い想いが語られています。指導医コーナーは金城俊一先生が出会った6名の恩師の数珠のような言葉と、情

報化過剰時代ならではの指導医像です。若手コーナーは後期研修1年目の丸山和典先生が指導医には熱意が必要と熱く語っています。本の紹介コーナーは井上比奈先生の舞台化、テレビでのドラマ化が決まっています琉球の歴史を紐解くテンペストの推薦です。

今月の緑陰随筆21編は、玻座真博公先生の吟行を銀行と読み笑み誘う旅吟記、外間章先生の新築された東村立診療所の披露と大震災復興への思い、金城忠雄先生の沖縄の医療に多大な貢献をした遠藤朝英先生の紹介、細川篤先生の安易に使われる「進化」という言葉からの社会考察、辺野喜英夫先生の50歳を過ぎて感じる加齢変化の眼のパート編、平田清司先生の苦労された開業医記、比屋根勉先生の父の背中と追想記、赤嶺和成先生の腕門中記、久田友治先生の大学時代のワンダーフォーゲルの思い出、山本和儀先生の恩師林宗義先生との出会いと哀悼の辞、金城浩邦先生の仏像の魅力について、宮城博子先生の台風と東南アジアと前世へと続く連想の旅、稲田隆司先生のvine通への道と琉球諸普及活動、藤田次郎先生の陶器との宿命的な出会い、當山兼正先生の懐かしい谷山浩子論、花城清治先生の詳細なおいしいワインの飲み方、玻座真博明先生の音楽鑑賞歴、野中公子先生の参考になりそうな子育て奮闘記、中野純一郎先生の子供と一緒に運動不足解消（NHKのドゥエアロビクスもお勧めです）、管野美紀先生のナイチャー嫁ならではの3線弾き語り沖縄の自然賛歌、宮城拓也先生の沖縄で開催される皮膚科支部会の案内と多彩な内容です。先生方の隠された一面が見えてくるかもしれません。

世界中に感動と勇気を与えたなでしこjapanのワールド・カップでの優勝のように、決してあきらめない姿勢で私たちも前を向いて進んでいきましょう。

広報委員 石川 清和